



## ～ 麻生まちづくり市民の会経過報告 ～

麻生まちづくり市民の会 会長 山崎 優



平成18年を迎え、区民の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

市民の会も早いもので、予定した3年の活動期間を終えようとしています。

**実践部会**では、麻生区内の課題を見付けその活動が地域に根付くことを目指して活動してきました。コミュニティバスに関しては、市民の会より独立し、地域の協議会として成果をあげて活動しております。葉積緑地については、手入れ活動を地道に行った結果、地域住民の方々の理解があり、近く愛護会の設立が予定されています。また、県の花である山百合は、麻生区内では開発によってほとんど姿が見られなくなったため、山百合の咲き誇った風景を願って球根を区内各所に植え、初夏に皆様と共に楽しめるように活動しています。さらに、ひやり・はっ!と・マップを完成させました。区内の危険箇所等を地図に表し、学校や公共施設、関係団体および一般への配布をしました。交通事故防止、防犯に役立て、明るいまちづくりに寄与したいと考えます。

**パートナーシップ推進部会**では、行政とともにパートナーシップ型事業を企画し推進することにより、市民の意見を反映させ実現可能なものになるよう取り組んでいます。新しい市民利用施設については、検討のサポートをして、区民が利用しやすいようにするための意見交換を進めた結果、検討委員会が区民提案を市長に提出。市により基本計画が策定

されました。今後は運営のありかたについて検討します。そして平成19年春には素晴らしい施設ができることを期待しています。また、景観形成協議会と「あさお落書き消し隊」を結成し、多くの区民および新百合ヶ丘駅周辺の企業を巻き込んで綺麗な街の実現を目指し取り組んでいます。その結果、街の美観を取り戻すことができ、区民に喜ばれています。

**バックアップ部会**は、区民のための縁の下の力持ち的な部会です。区民活動支援ルームの効率的な運営を行い、利用団体の支援等、地道な活動をしています。また、市民活動活性化のための学習会として達人シリーズを開催し、受講者だけではなく他区からも注目を集めています。さらに、市民活動の場の確保を目指した調査を行い、小冊子を発行しました。その他に、活動団体のパソコン操作技術の向上を目指した研修を行いました。

また、都市マス区民提案の実現に向け委員が自主的に立ち上げた「麻生まちづくり学校」は市民の会に所属して本校活動を開始しました。

**第2期市民の会の活動開始**に向けた準備も現在、進めています。平成17年度当初から、今後の組織のありかたや会則の改正等の検討をするため、次期組織検討委員会を立ち上げて討議してきました。それを基に、第2期市民の会準備委員会を組織し、今後も多くの区民が参加できるようなまちづくりをしていけるようにと準備しています。お気づきの点など、区民の皆様よりご意見等があればお聞かせ下さる様お願いいたします。

# 市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

～ 麻生まちづくり市民の会の活動 ～

## 実践部会

### 緑・環境小委員会

#### 1. 公園・緑地の維持管理チーム

葉積緑地保全活動は、今年4月に公園愛護会を地元で設立予定です。

1月18日(日)地元の参加者と山百合植栽地の手入れ、ゴミ拾いのあと、懇親会を開催しました。

#### 2. 緑の保全ネットワークチーム

1月12日(木)緑の基本計画改定にあたって市の環境局緑政部から説明があり、意見交換を行ないました。麻生区の緑被率は市内平均の約2倍にあたり、緑豊かなことは疑いはありません。しかし住宅市街地の拡大等により、自然的な緑地の減少が進んでいるのも事実です。現在の緑を将来的にも維持し、緑と住環境を活かすことが望まれます。公園配置の検討、生産緑地の宅地化を防ぐ手だて、調整池の有効利用の検討などが必要で、緑地の良好な景観を含め、緑は市民共有の財産といえます。

なお、各区別の計画も必要であるという改定の視点も説明されました。

### 道路・交通小委員会

#### 岡上跨線橋及び併設歩道橋

耐震補強工事にあわせて工事すると阿部市長から回答があった岡上跨線橋併設歩道橋頂上部の滑り止め等について、建設センターから、「今年度中に工事にかかるが、全部門一律に進展するわけではなく、次年度に涉って行く」との説明を受けました。

#### ひやり・はっ!と・マップ作成

小学校区別に5,000分の1の地図にマーキング(白黒A3版)したマップは、小・中学校等関係先に700部配布しました。更に関係先から、麻生区全図を配布して欲しいとの強い要望があり、このマップの目的である交通事

故防止及び防犯に、大変役立つと考えられるため、A0版の原図をカラーのまま増刷し、1,000枚作成しました。このマップは、区内の小・中学校等関係先に配布しました。



ひやり・はっ!と・マップ

## パートナーシップ推進部会

### 新しい市民利用施設小委員会

(仮称)新しい市民利用施設の検討では、スタッフとして事務局などのサポートを続けています。建物は基本計画ができ、続いて13名の委員で構成した運営検討部会を設置し、運営などの具体的検討に入っています。運営検討部会には、小委員会から3名が参加しました。



### バス停位置改善小委員会

新百合ヶ丘駅前ロータリーバス停の位置に関してアンケートを実施しました。この結果を集計して、川崎市交通局や小田急バスに伝

えて検討をお願いしました。

#### 落書き消し小委員会

景観形成協議会と合同で結成した、「あさお落書き消し隊」が新百合ヶ丘駅周辺で行った2回の落書き消しは、その後も成果が維持されています。

## ●バックアップ部会

#### 区民活動支援ルーム運営委員会

来年度より市民の会から独立することになりました。利用団体への的確な支援を一層促進できるよう、現在の運営を再確認し、強化したいと考えています。これまで見学等で先進の類似施設から多くを学んできた支援ルームも4年目となり、他区施設の来訪を受ける立場になりました。昨年11月には高津区民活動ルームの皆さんが来訪され、活発な意見交換の場を持ちました。

2月25日には、第8回「利用登録者の集い」を開催します。現在、(仮)新しい市民利用施設の運営について検討が進められていますが、支援ルームからも2名の委員が参加しています。そこで利用者の意見や要望を届けるためにヒアリングを実施します。また、昨年2月に「活動紹介カード集」を発行しましたが、23の新規登録団体を含む未掲載団体へ呼びかけ、別冊を発行する準備に入っています。

#### 活動の場の確保と情報提供小委員会

昨年11月に完成した「市民活動の場」ご案内(小冊子)を調査にご協力いただいた115カ所に配布しました。小冊子発行の記事が市民の会 広報紙15号に掲載されたところ、自治会・町内会・市民館、行政などから閲覧・案内用にぜひという要望が寄せられ、配布しました。自治会・町内会や各団体などで小冊子を活用したいという方はお問い合わせください。

問い合わせ先：

麻生まちづくり市民の会事務局

麻生区役所地域振興課

電話 965 - 5116

#### 交流会・学習会などの企画・実行小委員会

昨年11月、今年度最後の、達人シリーズ「組織運営の達人になろう」第4回ワークショップ「運営のための組織とルール」を開催しました。シナリオづくりから司会、ディベートの論者まですべてメンバーが担当しました。

1月からまちづくりハンドブックの完成に向けて本格的な活動を進めます。

#### 情報検討小委員会

平成17年度後期「麻生市民活動のためのパソコン講習会」ワード初級5回コースは12月14日で終了。続いてエクセル初級5回コースは、1月19日から2月21日まで実施します。

ワードでは、参加者は回を重ねるごとに熱が入り、関心が高まっていました。エクセルでは、表・グラフ・画像などの処理を学びます。

## ●麻生まちづくり学校

#### 麻生まちづくり学校活動報告

第4回講座(12月)「防災」-大災害・その時あなたはどうする?生き残るためにあなたは3日間をどう過ごしますか-

都市マス麻生区構想区民提案では防災の視点から、地域住民の安全を考えた地域づくりについてまちづくり方針を提案しています。講座ではそれを前提として、まず、市民の立場から川崎・災害ボランティアネットワーク会議代表 植山利昭さん、行政の立場から市総務局危機管理室主幹 鈴木喜一さんの講演がありました。続くワークショップでは、麻生区として、地域としてどう対応したら良いのかを参加者自らの課題にして、活発な意見交換が行われました。

第5回講座(2月4日)「環境」~緑地(斜面緑地・農地・公園・住宅地)について  
修了式(3月18日予定)



# 川崎市民自治創造・かわさきフォーラム あなたのまちは地域力ありますか！

3月11日

全体会 基調講演

「大事なことはボランティアで教わった」

牟田悌三 12:30から

パネルディスカッション

「地域力のつけ方」

かわさき元気メッセ 12:30

交流会「出会いの広場」 17:00から

3月12日

分科会

・当事者入門（バリアに気づくきっかけ）

・こどもに学ぶ

・2050年元気でいるかい

・ご近所のつながりづくり

緑と縁のまち麻生を歩こう 10:00から12:00

市民いこいの広場

かわさき元気メッセ 12:30

日時 平成18年3月11日（土）～12日（日）

場所 麻生市民館・麻生区役所会議室

主催 第4回かわさきフォーラム実行委員会・川崎市

参加方法など詳しくは市政だより  
2月号をごらんください。

## 麻生区コミュニティバス連絡協議会報告



テスト走行時のコミュニティバス

昨年11月、予定コースを走行。バス停10箇所の内2箇所は地権者の協力が得られれば可能ですが、8箇所については問題が指摘され、現在、地元と共にコース変更、バス停の場所を検討中とのことです。

## 市民の会次期組織

平成15年5月からスタートした「麻生まちづくり市民の会」は、3年間の期限で平成17年度で終了しますが、平成18年度からは、名称を引き継ぎ、第2期「麻生まちづくり市民の会」として活動を開始することに決まりました。

第2期の市民の会も、機能別部会を引き継ぎ、中間支援組織として活動します。

そして、支援機能をもつ「市民活動支援部会」と、活動を生み育てる機能をもつ「まちづくり推進部会」の2部会制とすることにしました。

「麻生まちづくり市民の会」は、参加する市民が主体的に自立して運営に関わり、活動して行きます。

< 会議予定 > 市民の会運営委員会、各部会は麻生区役所地域振興課事務局に連絡の上、どなたでも傍聴ができます

まちづくり市民の会運営委員会(2006年2月9日14:00～)

第2期市民の会準備委員会(2006年1月27日9:30～)

実践部会(2006年2月2日14:00～)

パートナーシップ推進部会(2006年2月3日18:30～)

バックアップ部会(2005年2月1日14:00～)

編集後記 今年の冬はとりわけ寒さが厳しいですが、それでも2月になれば節分、立春です。春を指折り数えて待ち焦がれるのは、雪国の人に限ったことではありません。市民の会も3年を経て、いよいよ新しい展開に入ります。麻生のまちが、より住みやすい、だれもが生き生きと暮らせるまちとなつてほしいのは、区民共通の願いです。行政も住民も、地域も、それぞれが持てる力を出し合って協働できるステージの実現へ、ますます期待がかかります。(岡本)